

QiI 剤使用ガイドライン

作成年月日：2021 年 5 月 12 日

作成者：Japan FRAC QiI 作業部会

対象とする有効成分

作用機構	作用点	グループ名	化学 グループ名	有効成分名	農薬名(例)	殺菌剤の 耐性リスク・備考	FRAC コード
C:呼吸	複合体Ⅲ ユビキノン還元 部位	QiI 殺菌剤	シアノイミダゾール	シアゾファミド	ランマン	不明であるが、 中～高と推測	21
			スルファモイル トリアゾール	アミスルプロム	ライメイ、 オラクル		

作物別使用ガイドライン

作物	病害	推奨散布回数	留意事項
ウリ科野菜	べと病	べと病を対象とする散布による 総防除回数の 50%以内	・ 予防的に使用する。
			・ 作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する。
バレイショ	疫病	疫病を対象とする散布による 総防除回数の 50%以内	・ 予防的に使用する。
トマト			・ 作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する。

QiI 殺菌剤の 1 作期あたりのきゅうり散布ガイドライン表

きゅうりべと病に対する殺菌 剤の総使用回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	≥10
QiI 殺菌剤の最大散布回数	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4

留意事項

- * 各薬剤の農薬登録の範囲（使用回数、希釈倍率、散布水量等）で使用する。
- * 予防的に使用する。
- * 作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する

注意事項

- * 本ガイドラインは、耐性菌の発生遅延化を目的としています。